

一、廢疾公傷者、坂方坑内ニ出未得ハ限リ就業ヲ交營シ并付金ヲ請フ  
一、廢疾手当金ニ早ク渡セ

石武拾壹個條ヲ嘆願任候  
昭和六年五月四日 瀨野炭礦爭議團代表

團長 手島延正  
副團長 竹生一二三  
全 宅岡静馬

瀨鉄所ニ瀨出張所  
所長 林 義雄 殿

五月四日夜、坑夫七百名ハ任事ヲ放棄シ、從業員大会ヲ開催シ右ノ要求條項  
ヲ決定、瀨鉄所ニ出張所長に叩き附けたのだ。  
俄然、入坑就業すかまの一人もなく、反動暴力團と対峙し、爭議は激化すると共に  
瀨野金山のゼネストへ拡大して、あるのだ。  
激励の手紙電報の嵐を捲起し、苦斗のどん底にあり足芽を應援しり！  
應援金の雨を降らせり！

勞社第七之三號

昭和六年三月四日 警視總監 丸山 鶴吉

6 〃 7  
年 22 15

事務大臣 安達謙藏 殿  
社務部長 吉田 茂 殿  
秋田縣 知事 殿

所仁鉱山行幸員代表長河鉦業會社訪問ニ關スル件 (元二報)

要旨 三月二日ノ勞資會見ニ於テハ何等條マシクナク翌三日ハ組合代表  
ト社寮裡ニ會見シ妥協上旨出シタルノ、又交渉打切聲明セリ

標記阿仁鉱山行幸員代表ハ引渡キ滞示シテ總同盟幹部ノ應援ニ  
依リ事業主側ト交渉中ナリシカ妥協点ヲ見出シタルモノ、如ク  
交渉打切りヲ聲明スルニ至リタルカ狀況ヲ記ノ通り

記